

2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

[6]質疑応答:AS エルフェン狭山 FC について

司会者:次に AS エルフェン狭山 FC につきまして回答させていただきます。

鈴木社長:先ほどお話しあげましたが、なぜ今こういう話が進んでいるか裏の事情も含めてお話しします。

AS エルフェン狭山 FC が関東リーグを勝ちあがって 2002 年になでしこリーグ(当時は Lリーグ)に参戦をし始めたんですね。それまでに 20 年くらいかかっているんです。その間に指導者にしても、運営している方にしても、すごく高齢化が進んでいる、という話が 2010 年にありました。その時に AS エルフェン狭山 FC のトップの方から大宮アルディージャに対して、トップリーグで戦っていくために、ぜひ監督を派遣してもらいたいという話がありまして、大石監督を 2010 年に派遣しました。

また、なでしこジャパン監督の佐々木さんから、さいたま市には 2 つの J クラブがあり、女子も埼玉県には浦和レッズと AS エルフェン狭山 FC の 2 チームがありますので、女性もしっかり強化していただきたいと、佐々木さんからの要請もありました。そういうのを受けてですね、私たちの使命であるサッカーの振興という点については、男女にかかわらず行なっていくのが当然ですので、去年の 10 月の時点で判断をし、12 月の時点でああいふ形でリリースされました。チーム名をどうするかについては先ほど話をさせていただきましたので、詳細は省きますが、もうひとつ AS エルフェン狭山 FC さんは NPO 法人で非営利団体です。大宮アルディージャは株式会社です、営利団体で形態が異なりますが、監督に加えて GM を派遣するなどして出来るだけ支援をしていこうというのが実情です、そういうことで考えています、以上です。